

1. 準ずる法定事務の名称と趣旨又は目的の内容等

	(1)法定事務	(2)独自利用事務
①事務の名称	介護保険法による保険給付の支給、地域支援事業の実施又は保険料の徴収に関する事務であって主務省令で定めるもの	高齢者に対する日常生活用具の給付に関する事務であって規則で定めるもの
②番号法別表第1の項	68	
③番号法別表第2の項	94	
④番号法第9条第2項に基づき定める条例の名称及び①の該当部分		門真市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例別表第1の第4の項 高齢者に対する日常生活用具の給付に関する事務であって規則で定めるもの
⑤事務の趣旨又は目的が規定されている箇所	介護保険法（平成九年十二月十七日法律第百二十三号）第1条	門真市高齢者日常生活用具の給付に関する要綱第1条
⑥事務の趣旨又は目的	第一条 この法律は、 <u>加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病等により要介護状態となり、入浴、排せつ、食事等の介護、機能訓練並びに看護及び療養上の管理その他の医療を要する者等</u> について、これらの者が尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な保健医療サービス及び福祉サービスに係る給付を行うため、国民の共同連帯の理念に基づき介護保険制度を設け、その行う保険給付等に関して必要な事項を定め、もって国民の <u>保健医療の向上及び福祉の増進</u> を図ることを目的とする。	第1条 この要綱は、日常生活に支障のある <u>高齢者</u> に対し、必要な日常生活用具（以下「用具」という。）を給付することにより当該高齢者の日常生活の便宜を図り、もってその <u>福祉の増進</u> に資することを目的とする。
⑦独自利用事務の関連規範		門真市高齢者日常生活用具の給付に関する要綱